

がん遺伝子パネル検査受診のための必要書類・検体についてのご案内

(保険診療による検査について)

がん遺伝子パネル検査では、現在のところ検体を準備してから検査の結果が出るまで約1ヶ月程度、当院でのがんゲノム診断カンファレンスを経て結果を患者さまへお返しするまで1ヶ月半~2ヶ月程度かかります。標準治療外の薬剤のご提案が可能であっても保険適応外となるため、臨床試験の検索を含め薬剤使用の可能性について様々な議論をしなければなりません。そのため、我々は検査を受ける患者さまは、少なくとも3ヶ月以上の予後を見込める方としております。

検査に必要な検体の準備ができない方、厳しい予後予測の方など、がん遺伝子パネル検査不可能と判断される場合は、その旨ご担当の先生からご説明をお願いいたします。

検査可能と判断された場合は、「がん遺伝子パネル検査診療情報提供書、直近の採血データ、CT画像、病理検体、病理レポート」の準備をお願いいたします。

当院で施行しているがん遺伝子パネル検査は下記の2つです。

- FoundationOne CDx がんゲノムプロファイル
- OncoGuideNCC オンコパネルシステム

【パネル検査に適合する病理検体の条件・準備について】

<未染色スライド作成可の場合>

- FFPE 未染色スライド 規定枚数 (下記参照)
- HE 染色スライド 2枚

※いずれも返却されません。

切片的厚さ： 4~5 μ m

切片の枚数： 10枚

切片表面の面積： 25mm²以上

※表面積 25mm²未満の場合 (特に生検検体)、切片の合計体積が 1mm³以上になるように、厚さ 4~5 μ m の切片のスライド枚数を追加してください。

※未染色標本作成の際は、1枚のスライドガラスに切片を1枚だけ貼るようにしてください。

※作成過程で伸展・乾燥のための加熱は行わないでください。

※未染色スライド作成時にはコンタミネーションには十分ご注意ください。

腫瘍細胞割合： 有核腫瘍細胞の割合 30%以上

※腫瘍含有率を必ず、がん遺伝子パネル検査診療情報提供書にご記入ください。

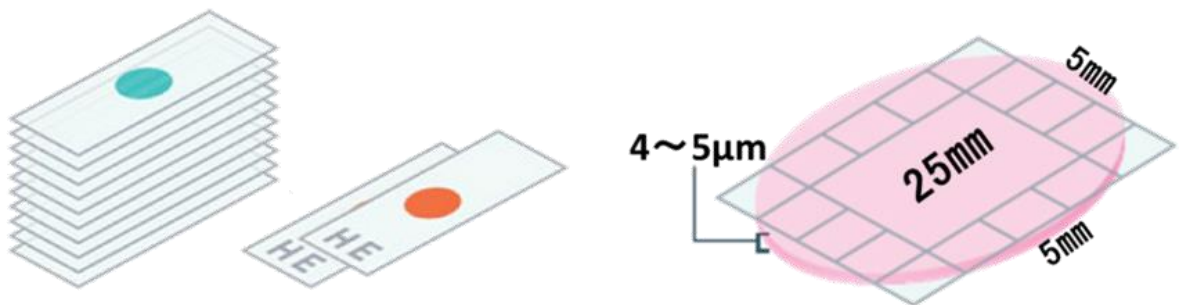
＜未染色スライド作成不可の場合＞

- FFPE ブロック
- ブロックに対応する病理診断時の HE 染色スライド

※検査後、いずれも返却いたします。

また、下記の場合は検体不良で検査できません。

- ・ 酸脱灰した標本（骨転移腫瘍や原発性骨腫瘍など）
- ・ 中性緩衝ホルマリン以外で固定された標本
- ・ ホルマリン固定時間が長い（48 時間を超える）標本
- ・ FFPE ブロック作成から 3 年以上経過している標本
- ・ 薄切後 12 ヶ月以上経過した未染色標本
- ・ 過去に受けた放射線治療の照射範囲に含まれていた組織の標本



FFPE 未染色スライド規定枚数+HE 染色スライド 2 枚

【がん遺伝子パネル検査受診のための必要物チェックリスト】

- がん遺伝子パネル検査申込書 ※申込時に FAX をお願いします。
- CT 画像、採血データ(これまでの経過をお知らせ下さい)
- 組織検体(腫瘍含有率が 30%以上のもの)
(検体の腫瘍含有率は診療情報提供書に必ずご記入ください)
- 病理レポート

【申 込 手 順】

- 1、必要物をご準備いただいたのち、TEL : 0172-39-5378 (腫瘍内科 (がんゲノム外来))
にお電話で外来受診の予約をお取りください。その際「がんゲノム遺伝子検査希望での受診」ということを一言お申し添えください。

※お申込みは必ず医療機関からお願いします。個人でのお申込みはできません。

- 2、電話予約終了後「がん遺伝子パネル検査申込書」の FAX をお願いいたします。
FAX : 0172-39-5338 (総合患者支援センター)

- 3、準備いただいた資料の郵送をお願いいたします。

〒036-8563 青森県弘前市本町 5 3 番地 総合患者支援センター

<お問合せ>

弘前大学医学部附属病院

腫瘍内科 (がんゲノム外来)

〒036-8563 青森県弘前市本町 5 3 番地

TEL : 0172-39-5378 (直通)

※現在、がんゲノム外来の設置準備中のため、
腫瘍内科で承ります。